

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270200967		
法人名	社会福祉法人七峰会		
事業所名	グループホームアップル		
所在地 (電話番号)	〒036-8302 青森県弘前市高杉字尾上山349 (電話) 0172-97-2778		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 8月 30日	評価確定日	平成 20年 11月 10日

## 【情報提供票より】(平成20年7月15日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 13年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	2人, 非常勤 5人, 常勤換算 6.38人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	7,500 円	その他の経費(月額)	6,000 ~ 冬期7,500 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,000 円			

### (4) 利用者の概要(7月15日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	3 名	要介護4	3 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 85 歳	最低	67 歳	最高	95 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	桔梗野こども・おとなクリニック、藤代健生病院、小泉歯科
---------	-----------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

建物の敷地内にはたくさんの果樹や色とりどりの花が植えられており、四季折々に利用者の目を楽しませてくれる。事業所の立地条件を活かし、近所に山菜とりにてかけたり、野菜畑づくりをとおして利用者の今までの生活を継続していくための取り組みがなされている。また、様々な事業所を併せ持つ法人に属する利点が随所にみられる。併設されている認知症対応型のデイサービスとは職員、利用者共に行き来があり、なじみのある関係が築かれている。隣には同法人の特別養護老人ホームがあり、医療面や緊急災害時の連絡体制が整っている。ご家族とも綿密に連絡をとりあっており、入居者・ご家族の事業所に対する信頼も厚い。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>思いや意向の把握という点に関して生活歴や嗜好の把握をセンター方式のアセスメントツールを利用し、一人ひとりを知り、ケアに生かしていこうとする努力がみられる。また、同業者との交流についてはその意義を事業所内で検討し、他グループホームへの見学交流を積極的に行うことなど改善に向けて取り組まれている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者を中心として職員間で話し合いが行われ、評価の意義等について理解されている。また、日々振り返りを行いながらサービスの質の向上にむけて取り組まれている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>入居者の参加をはじめとして、ご家族、民生委員、町会の方や市役所・地域包括職員など各種メンバーで定期的開催されている。内容はホーム内での活動状況の報告や町内との交流の持ち方などについて話し合われている。また、前回の外部評価結果についても報告がなされ、意見を頂いている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>ご本人の状況をより、詳しくご家族に知っていただくために日々の予定が書かれた介護計画書の週間サービス表や近況報告の手紙等を送付している。意見箱も設置されているが主に面会時や電話を通じて、運営推進会議参加時など積極的にご家族とコミュニケーションを図り、意見を吸い上げられるよう働きかけている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>グループホームから地域に出かけ、小学校の行事に参加したり、グループホームに招いて押し花などの作品展示会を開催し、相互交流がなされている。また、郷土食である飾りずしの勉強会を行うなど入居者が今まで慣れ親しんだ地域での特色が活かされるような取り組みが行われている。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体施設の理念を基本にグループホーム独自の理念を作りさらに昨年度の評価での話し合いから、地域密着型サービスにふさわしいように作っている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	一日3回の引継ぎで理念を読み上げ、またカード式にして持ち歩いたり、玄関・ホールに掲示しながら常に意識して仕事をしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	グループホームは、リンゴ畑に囲まれ民家からは離れているが、併設のデイサービスの利用者との交流や、地域の方から飾り寿司を教えてもらったり、地区の小学校の運動会や学習発表会にいたりしながら交流を持っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価意義を職員全員で認識し、評価結果を全職員に公表して、更なる向上につなげるように話し合いをして、意識向上につなげている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町会長、民生委員、市役所担当職員、包括支援センター職員、利用者家族の参加を得て話し合われている。ここでは外部評価の報告、個人情報に配慮した範囲での状況報告などをし、参加者からは外出先のアドバイスをいただくなどサービス向上につなげている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議への参加を通してや、必要時常に行き来しているので、サービス向上に向けては、いつでも相談できる体制である。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>入居者の中に成年後見制度を利用されている方がおり、勉強会を通して職員間で共通認識を持ち、対応している。また、必要な方へもうまく制度を活用できるように支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>全職員で高齢者虐待防止法について勉強会を開き、あつてはいけないことであることの認識を持ち、職員同士で注意を払い、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>重要事項説明書の説明と明示を通して、ご家族の不安や疑問点などを伺い、理解していただいている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時や電話、毎月週間サービス表を送付していて、その紙面に入居者の状況を書いて、ご家族からも喜ばれている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置と面会時の会話や運営推進会議で意見を気軽に出してもらえるように、働きかけている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動を極力少なくしているが、どうしても変わるときは、母体施設から顔なじみの職員が異動できるようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修では、先輩職員の指導のもとグループホームの役割等について学んだり、外部研修については職員自らが学びたいと思う研修への参加の機会が確保されている。</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他施設を見学させてもらったり、認知症高齢者講習会参加や実習受け入れ、認知症介護ネットワーク推進研修等参加を通して積極的に交流の機会を持ち、サービス向上につなげるようにしている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ご家族と一緒に食事をしてもらったり、併設デイサービス利用者と一緒にの行事開催を通して楽しい雰囲気づくりをしたり入居者やご家族さんからの会話を通して不安解消に努めている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>畑作り・餅作り・縫い物など、入居者から教えてもらいながら一緒に作り支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>生活暦を参考にしながら、センター方式を使い、アセスメントを行いケアプランに反映させたり、入居者、ご家族から希望などを聞いたり、職員間で話し合い本人の思いを把握している。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人はもちろん、ご家族の面会時や電話などで話し合われたことや、日々の生活の関わりの中で感じられた職員の意見を参考にして介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に一度の見直しと、状態が変化することがあればその都度見直し、現状に即した介護計画にしている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>遠くから面会に来たご家族の宿泊や、在宅でのかかりつけ医の継続で安心感を持ってもらったり、買い物や自宅への外出など要望時の対応を行い、安心感を持ってもらうようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>在宅での継続ができるように支援している。また、嘱託医との連携のもと希望者には定期的に診察を受ける機会を確保している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>重度化し対応困難となったときは、併設の特養施設での対応となることや、本人やご家族の意向をかかりつけ医とも話し合い不安の無いように、全員で方針を共有し、連携体制を持っている。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人的なことは本人のお部屋で話すことにしている。また記録物の保管や書類の廃棄にはシュレッダーを使用している。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>基本は個別対応であり、そのために職員の勤務変更も行っている。体調不良者がいるときは一番に病院受診したり、転倒リスクの高い人へは、付き添うことを優先したり、一人ひとりに合った対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>盛り付け、配膳、後片付けなど職員と一緒にしている。また、副菜も選択できるようにしたり、主食をお粥にしたりなど、個人の好みに対応している。入居者が関わった畑の野菜を使って調理したりと食事するまでの過程も楽しみのあるものになっている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>基本は週3回の入浴日にしているが、そのほか本人の入浴したい意向にそって入浴ができるようにしていたり、シャワー浴や足浴も希望通り出きるようにしている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>掃除や洗濯たたみ、カレンダーの日めくり、ごみ捨て、新聞受け取り、カーテン開けなど自主的に役割分担をしている。また、畑や花壇には自由にいけるようにし、場面作りが必要な方へは配慮して外気に触れて気分転換できるように支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>近所に山菜取りに出かけたり、畑づくり、花壇の花の手入れ、買い物、ドライブなど希望に沿って支援されている。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を職員全員が理解し、言葉による拘束についても職員同士で気をつけている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間玄関に鍵を掛けるが、日中は開放して入居者が自由に出かけられるよう配慮し、職員がさりげなく見守りを行っている。また、来訪者がいつでも気軽に入れるようにしている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域との連絡体制や協力体制が整っていて、年2回総合的な訓練を母体施設とともに実施したり、職員は消火器の取り扱いを習得できるように訓練している。また、緊急時すぐに職員がかけつけられるよう緊急連絡網による訓練も行っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	母体施設の管理栄養士により、カロリー管理を行うと共に昼食時の選択食により入居者の希望にそった物を提供するようにしている。食欲不振や水分摂取量の少ない入居者については、ケース記録に記録しながら、看護師との連携のもとで対応している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	各感染症ごとにマニュアルが作成されていて確認を繰り返しながら感染予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>食堂兼居間として、入居者が一番くつろいでいる空間は、天井が高く、広々とし、くつろげるようにソファが置かれ、窓はレースのカーテンで光を調節出きるようにしている。窓からはリンゴ畑や花壇、そのほかの果樹がみえ季節を感じ取ることができる。台所は対面式で作業をしながらでも、入居者の様子があり、会話を楽しみながら作業できるようになっている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前の調度品の持ち込みについてご家族に働きかけがされ、写真等飾られている居室もあるが、持ち込みが少なく生活感にかけける部屋も見受けられた。</p>		<p>今までの入居者やご家族との関わり、センター方式で得られた情報などを基に更に入居者と本人らしさが発揮できるようなお部屋づくりをされることを期待します。</p>

 は、重点項目。